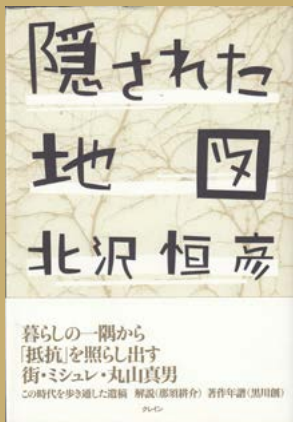




2025年秋、
SUREは、
100冊目の本を
刊行しました！
こんごとも、
どうぞごひいきに。
※100冊記念イベント開催決定！ 詳細別紙



↑ 1冊目
100 冊目 →

編集グループSURE
2025年秋・冬
図書目録



山田慶児

『技術からみた人類の歴史』

定価2420円（税込）。四六判並製、192頁



人類の技術の歴史は、旧石器時代、石と石とをぶつけあって打製石器がつくられたときから始まっています。こうした「道具」の種類が増えるにつれて、それに対応する概念である人間の言語も豊富になってきたことでしょう。新石器時代にいたると、大規模な農業も始まり、世界のあちこちに、いわゆる「四大文明」が発展していきます。建築、船、車、織物……今日へと続く「技術」の原型は、すでにそのころにはほぼ出揃っていたと、山田さんはおっしゃいます。

こうした人間の活動の三つの基本的要素（作る（製作）〈知る（認識）〉〈表す（表現）〉——技術、科学、芸術——を、一人の個人のなかに統合して活躍するレオナルド・ダ・ヴィンチのような人物が登場するのは、それから千数百年を経てのこと……。

山田慶児さんのレクチャーは、こうした人類の歴史を跡づけていくだけでなく、これの上に立ち、いま、わたしたち一人ひとりが生きる場所での「土法」（その土地に根ざしたやり方）を掘り起こしながら、同時代の課題と取り組む方法へと道を開きます。

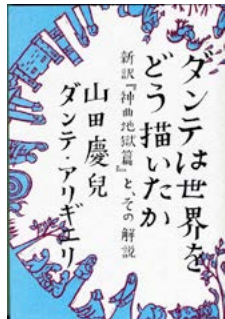
中国の天文学から医療、本草学、自然哲学史、西洋科学史。広大な東洋の科学史の世界を、明快に解き明かす。

思想的アプローチで科学文明の本質を探り続けた山田慶児、SUREからの著作をご紹介します。

① 「異文化を理解する」というのは難しい。けれど、その人たちが大切にしている「聖典」を読んでみることは、未知の世界を理解する手がかりをもたらししてくれるかも。山田さんとともに岩波文庫『コーラン』を読み、その聖典の内容、歴史と社会背景などを読み解いていきます。

② ダンテ・アリギエリは、13世紀後半から14世紀初頭を生きた、フィレンツェの知識人。当時のイタリアの自治都市は、中世の終わり近代の始まりのはざままで、大きな技術革新のなかにありました。ダンテによる地獄の光景の描写には、その時代の先端をゆく科学観、自然観が、生々しく反映されています。山田さんによる、原著イタリア語からの新訳と、詳細な解説。

③ 独特の学風はどうやって形成されてきたのか、その「秘密」をうかがった記録。山田さんの口調は楽しく陽気ですが、ここには、学問に取りくむ者が一人で籠るしかない孤独な暗がりも隠されているようです。



- ① 『コーランを読んでみよう』（定価 2750 円・税込）
- ② 『ダンテは世界をどう描いたか』（定価 3520 円・税込）
- ③ 『わたしはどんな学問をしてきたか』（定価 2310 円・税込）

シリーズ
鶴見俊輔
さんの
仕事
鶴見さんと共に
行動していた人だけが
残せる証言！

哲学者・鶴見俊輔さん（1922—2015）の膨大な領域の仕事は、著作などの形で残っています。でも、自身の行動を通して状況と向きあうのも、鶴見さんの「思想」のありかたでした。それぞれの局面で行動を共にした人たちの証言を記録・検証し、未来にわたる課題としても引き継いでいく、シリーズ（鶴見俊輔さんの仕事）です。

*全5巻、四六判変型並製、各巻112〜144頁。
各巻、定価1650円（税込）

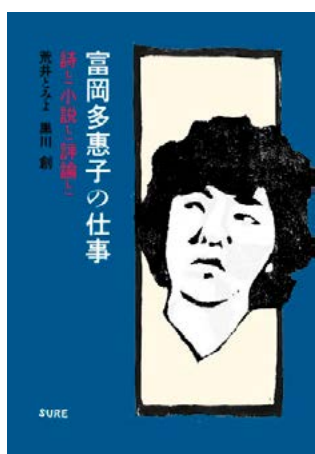


- 第一巻 「ハンセン病に向きあって」
木村聖哉・湯浅進・黒川創
- 第二巻 「兵士の人権を守る活動」
高橋幸子・三室勇・那須耕介・黒川創
- 第三巻 「編集とはどういう行為か？」
松田哲夫・室謙二・黒川創
- 第四巻 「雑誌「朝鮮人」と、その周辺」
姜在彦・小野誠之・関谷滋・黒川創
- 第五巻 なぜ非暴力直接行動に踏みだしたか」
小泉英政・川上賢一・黒川創

荒井とみよ・黒川創

『富岡多恵子の仕事』

定価2750円（税込）。四六判並製、192頁



富岡多恵子（1935—2023）は、詩人、小説家、先鋭な批評家として、日本の文学界でフロントランナーたる注目を浴びつづけてきました。大阪の下町に生まれ、生涯、この地の風土と言葉に、創作上の根を置く作家でもありました。また、家父長制的、男性優位の世間に対し、女性という「性」に立ちつつ、果敢に懐疑と異議申し立てをしました。

22歳での詩人デビュー作『返禮』（1957）に始まる、鮮烈な詩作。『丘に向ってひとは並ぶ』（1971）で小説に転じ、『湖の南』（2007）まで、話題作、問題作の発表が相次ぎます。一方、『室生犀星』（82）、『中勘助の恋』（93）、『釋道空ノート』（2000）、『西鶴の感情』（04）といった批評や評伝においても名作を生んでいます。

富岡作品の長年の愛読者であり、日本文学研究者の荒井とみよと、富岡との交流が深かった作家・黒川創が、彼女の諸作品をめぐる問題提起を行ない、翻訳者・斎藤真理子、フランス文学者・宇佐美斉らも討議に加わり、議論が交わされています。稀代の女性作家の再評価に向けて、生涯にわたる仕事の全容解明への試み。

④ ペテラン編集者であり、豊かな学識から「本」をめぐる過去・現在・未来を縦横に論じてきた津野海太郎さん。5千年にわたって続いてきた「本」のありかたに、いま、どんな変動が生じているのか、ライフスタイルの変化を背景に、「読書」はどこに向かっているのか。編集・出版、書籍取次、書店、各分野の現場で働く方々も加わり、議論を深めています。

⑤ 57歳のとき、念願の個人雑誌「はなから通信」を手づくりで創刊した高橋幸子さん。誌面を満たす豊富な企画、ユーモア、権威や権力にまつろわない精神。多彩な記事と執筆陣、また編集術は、どんな経験からうまれたか。余計なお金や手間をかけることなく、既存のものを利用・転用・再活用すること、目的を実現していく、「主婦的」知恵や機転。その具体的な方法と心得を伝授！

⑥ 鶴見俊輔さんは、1946年にみずから創刊し、半世紀にわたって刊行した雑誌「思想の科学」をはじめ、書籍や雑誌の編集者としての仕事を残しました。「編集」という共同の行為は、鶴見さんの創造の場でもあったのでは。多くの書籍編集の現場を鶴見さんと共にした筑摩書房顧問の松田哲夫さん、「思想の科学」の編集を行なった室謙二さんとともに討議を深めていきます。ほかに豪華コメンテーターが続々と証言。



- ④ 津野海太郎『本はどのように変わっていくのか』（定価 2640 円・税込）
 ⑤ 高橋幸子『手づくり雑誌の創造術』（定価 2420 円・税込）
 ⑥ 松田哲夫ほか『編集とはどういう行為か?』（定価 1650 円・税込）

あの人はどうやって本や雑誌をつくっているのだろうか？ 本づくりに関する本をご紹介します。

① 平野甲賀と黒川創のトークイベントの記録。本づくりに生きる東欧の図像——チャベック兄弟の世界にうまれ、大正時代の日本の「漫画」にも影響を与えたブックデザインの様式とは？ 書物の楽しさをデザインするための、あたらしい切り口。会場から鶴見俊輔さんや山田稔さんが質問する場面も。「チエコから真つす日本にむかつてボールは投げられた。それで、受けとめる人間が日本にいたんですね。」（鶴見さん）

② 本人が自身を大いに語り、文字を描き下ろし、そして全体を装丁する、まさに自作自演の演劇的一冊。ちょびりシャイにして繊細、それでいて大胆な名文家、平野甲賀。SUREメンバーが敬愛する独創の装丁家によるみずみずしい一冊。

③ 図書出版クレインを立ち上げ、25年以上にわたって、「二人出版」の活動を続ける文弘樹さん。企画立案、著者関係者との相談や交渉、書籍製作、装丁、ホームページの管理や営業活動まで、多岐にわたる業務内容。出版、活動を支える思索、方法、経験などを明らかに。一人の大家、あるいは、一人のマイノリティとして、日本社会を生きていることは、いったいどういう経験か？



- ① 平野甲賀・黒川創『ブックデザインの構想』（定価 1540 円・税込）
 ② 平野甲賀『もじを描く』（定価 1320 円・税込）
 ③ 文弘樹『こんな本をつくってきた』（定価 2750 円・税込）

SUREの本
《五十音順》

アイヌ語のむこうに広がる世界 中川裕

〈この人に会いたかった〉第5巻。アイヌ語を母語として育った世代の人は、もう、ほんとうにない。けれど、先人の知恵を引きつぐ研究と、ことばの復興の動きは、広がりを増している。『ゴールデンカムイ』監修者。A5判並製・120頁。定価1320円(税込)

アジアが生みだす世界像

竹内好の残したもの

鶴見俊輔 編

竹内が残した問いから、未来にむけて、どんな知恵を引き出せるか? 二一世紀の新しい世界像を模索する、シンポジウムの記録。企画・立案、鶴見俊輔。中島岳志、大澤真幸ら。四六判並製・192頁。定価1870円(税込)

ある女性の生き方

――茅辺かのうをめぐって

那須耕介

〈鶴見俊輔と囲んで〉第3巻。一九六〇年代、街育ちの三〇代の女性が、身寄りもない北海道の果てへと旅立った。彼女が選びなおした「生き方」と、その目にうつる当時の北海道。A5判並製・80頁。定価770円(税込)

安心貧乏生活

瀧口タ美

ほとんど低収入の私が、いまの暮らしに不安を覚えず生きていくには、どんな心構えでいるのがいいのか? みずから安心を築いた、人生の先輩たちに聞く。「お金にとらわれずに生きるって、どういうことですか?」四六判並製・128頁。定価1980円(税込)

生きる場所をどうつくるか

瀧口タ美・黒川創

自分たちで、もっと気楽に助けあい、質素でも生き甲斐のある場所、「なりわい」として長く続ける場を模索したい。年長世代にも話をきき、知恵を交換しあった記録。四六判並製・192頁。定価2640円(税込)

あたらしい人生(新装版) 絵・文 北沢街子

「泣いてばかりいる生活なんてもうイヤ」。引越した荷物をリヤカーに積んで、主人公のあたらしい人生がはじまります。ゆっくりと時が流れる最初の夜。シリーズ〈へるいの子の絵本〉①。B6判上製・48頁・カラー。発売・新宿書房。定価1320円(税込)

あのころ、ぼくは革命を信じていた

――敗戦と高度成長のあいだ

大牧富士夫

旧徳山村出身、敗戦時17歳の通信兵。あのころぼくをつき動かした予感、なんだったのか? 若者としてのまなざしと、社会がたどった歴史が交差する。解説・米田綱路。四六判変型並製・144頁。定価1650円(税込)

アメリカ哲学

鶴見俊輔

哲学者・鶴見俊輔の思索と行動の原点を刻む最初の名著。27歳で発表した本書は、半世紀を超え読みつがれてきた。自身の留学と戦争体験も下敷きに展開されるプラグマティズム理解。巻末に黒川創による詳細な解説。四六判上製・400頁。定価3960円(税込)

今よりマシな日本社会をどう作れるか

――経済学者の視野から

塩沢由典

そこそこにピンボで、平凡な暮らしをしている人間に、もっと役に立つ経済学はないのか? 塩沢さんに素朴な疑問をぶつけた、現代経済学入門の書! 四六判並製・160頁。定価2090円(税込)

「うっ」のわたしの子育て

北沢街子

子どもと二人きりになるのが、怖くなるときもあった。朝、保育園に連れていかなければと思うのに、どうしても体を起こせない……。友人たちに助けられながら歩んだ子育ての記録。四六版変型並製・96頁。定価1540円(税込)

海老坂武のかんたんフランス料理 海老坂武

――シングルライフ84歳のおもてなし

八四歳のいまでも、ときどき自宅にお友だちを招いて、フランス料理でおもてなしする海老坂さんに、レシピから、ふだんの暮らしぶり、今後の目標までうかがいました。A5判変型並製・176頁。定価2860円(税込)

大石誠之助の生涯 紀州の医師と大逆事件

ジョセフ・クロニン著 中尾ハジメ訳

近代日本最大の冤罪事件「大逆事件」で処刑された大石。日本在住のアイランド人研究者が、国際的な視野から資料を渉猟し、異能のヒューマニストの生涯を明らかに。四六判並製・320頁。

定価3300円（税込）

おぼけ灯台 文・奈浦なほ、絵・きむらみほ

ほいくえんのとき、仲よしだったミドリちゃん。このごろ、彼女はいじわるだ。学校でボクをいじめめる。悪口いって、つきまとう。ある日、ボクは街をでた……。シリーズ「へわるい子の絵本」②。B6判上製・48頁・カラー。発売・新宿書房。

定価1540円（税込）

小沢信男さん、あなたはどっやって食ってきましたか

小沢信男・津野海太郎・黒川創

多面的な作家生活を送ってきた小沢さん、八四歳（当時）。異なる世代で、同じく書き、読み、編集する活動を続ける二人が聞く、日本の文学運動、芸術運動の歩み。四六判並製・152頁。

定価1980円（税込）

女・写真家として

石内都

「いま、どうやって生きていますか？」第3巻。育った街ヨコスカ。母の遺品。広島で原爆にうたれた少女たちの服——。石内都さんの写真作品の流れからは、一人の女性表現者としての個人史も見えてきます。A5判並製・120頁。

定価1426円（税込）

お産の話

余川典子

——上野博正と新宿「めだか診療所」

1977年、北新宿に開かれた「産婦人科・精神科」の病院。女性本位のお産とはなにか。リブの時代、そこに集った人々とのあいだにうまれた貴重な精神史の叙述。四六判並製・208頁。

定価2640円（税込）

海路としての「尖閣諸島」

山田慶兒

——航海技術史上の洋上風景

領土問題として語られがちな「尖閣」。しかし中国・明代のころ、この島々は誰のものでもなく、海を行く人々の命と勇気を等しく支える洋上のシンボルだった。四六判並製・160頁。

定価2530円（税込）

科学と信仰のあいだで

柳瀬睦男

〈鶴見俊輔と考える〉第2巻。納得を得る瞬間そのものが、ひとつの神秘でもある。物理学徒として迎えた原爆投下と敗戦。「原爆の父」オッペンハイマーとの出会い。カトリック信仰と物理学をつらぬく哲学。A5判並製・120頁。

定価1320円（税込）

技術からみた人類の歴史

山田慶兒

人類の活動の基本要素のひとつである「技術」。その歴史を跡づけ、一人ひとりが生きる場所での「土法」（その土地に根ざしたやり方）を掘り起こし、未来に向けての課題と取り組む。四六判並製・192頁。

定価2420円（税込）

隠された地図

北沢恒彦

中小企業診断士として、京都の街を歩き尽くした著者の遺稿集。街の店主とルソーについて語り合った著者が、手放さなかった思索の方法。丸山眞男論など。那須耕介「解説」、黒川創「年譜」。装幀・平野甲賀。四六判上製・304頁。発売・クレイン。定価2750円（税込）

北沢恒彦とは何者だったか？

編集グループSURE 編（聞き手・黒川創）

語られる者の歴史と、証言者たちの人生の時間が交差する、新しいオーラル・ヒストリー。SUREの創始者・北沢恒彦（1934—99）、京都の一隅に生きた65年間。四六判上製・336頁。

定価3300円（税込）

加藤典洋とは何者だったか？

フランス現代文学に熱中した早熟な文学少年。やがて、文芸評論家として村上春樹を重ねて論じ、原爆投下、日本の「敗戦」の受けとめかたにこだわり続けた。71歳の生涯を駆け抜けていった、加藤典洋とは。四六判並製・368頁。

定価3740円（税込）

樹のなかの音——瀧口政満彫刻作品集

「無数の刃あとの一つひとつが、微細な陰影をつくりだし、それ全体が、やわらかな光のなかに立っている」（序文）。阿寒湖畔を拠点に彫り続けた瀧口政満の代表作を収録。編／序文・黒川創。A4判変型並製48頁。協力・クレイン。

定価1980円（税込）

京都学ことはじめ

森浩一

— 森浩一12のお勉強

考古学者・森浩一が、12人の専門家と、京都の歴史について、新しく「お勉強」。この街について理解を深める格好の一冊。各講に宿題編。四六判並製・232頁。発売・新宿書房。

定価2200円（税込）

「国」って何だろうか？

室謙二

— オバマのアメリカ合衆国、私の生まれた日本へこの人に会いたかった第2巻。カウンターカルチャー世代で、国籍も「米国人」となったジャーナリストの室さんに聞く、オバマのアメリカの光と影。A5判並製・120頁。

定価1320円（税込）

経済に「国」はいらない

塩沢由典

— ジェイン・ジェイコブズを読む

ジェイコブズは、高速道路と近代建築からなる都市像よりも、人間関係に支えられる下町の環境に価値を置く。疲弊した日本経済の再生の方向を示す、塩沢さんの連続講義。四六判並製・288頁。定価2970円（税込）

原子力の腹の中で

中尾ハジメ

— 福島第一原発事故のあとを、私たちはどう生きるか

事故直後の新聞記事やデータ、専門家らの言動を参照し話したった、事故発生の日から、原子力や放射能汚染について考えるきっかけに。四六判並製・240頁。定価2420円（税込）

現代史の子ども

高山英男

「いま、どうやって生きていますか？」第4巻。教科書出版社に就職し、「教育」について抱いた疑問。子ども調査研究所を設立し、追いつけた子どもたちの実像とは。未来にわたる歴史の主人公たちをめぐる話。A5判並製・120頁。定価1426円（税込）

子どもと染めて作る はじめてのクラフト

吉谷美世子

たまには、ゲームやスマホから目をはなして、子どもも大人も素材にふれて、暮らしを彩るものをつくらう。手軽で安価な材料で、織物、編み物、フェルト、染め物入門編。A5判並製・128頁。定価2860円（税込）

子どもと学ぶアイヌ語

瀧口タメ

大人から子どもまで、遊びながらアイヌ語を楽しく学べる。子どもの目線にたつて、言葉にふれる入門書。「ことば」を知っていくことは、その背景にある文化を理解していく手がかりとなるのでは？ 監修・中川裕。A5判並製・128頁。定価2640円（税込）

この時代のひと歩き

海老坂武

〈鶴見俊輔と考える〉第5巻。海老坂さんの自伝を手がかりとして、1960～80年代が生きてきたと再現されます。恋愛観で盛りあがり、「鶴見さん、どうして結婚したんですか？」などの質問も。A5判並製・120頁。定価1320円（税込）

コーランを読んでもみよう

山田慶児・編集グループSURE

イスラム教の聖典「コーラン」をみんなで読んでみよう！「異なる文化」の理解は簡単なことではないけれど、最初の一歩にはなりそう。四六判並製・288頁。定価2750円（税込）

これからの日本で生きる経験

藤原辰史

未来にあるかもしれない、全体主義の社会。過去の人類の経験を、これからの難題の解き口とするために。20世紀全体主義国家での経験を手がかりに、未来の共存と相互扶助を築いていこう。世代を超えた語らいの記録。四六判並製・224頁。定価2640円（税込）

こんな本をつくってきた

文弘樹

— 図書出版クレインと私

企画、制作、営業活動まで、「ひとり出版社」の編集者としての仕事や、創業に至るまでの話。今の時代を生きるマイノリティーとしての経験が、出版活動をどう支えたか。四六判並製・224頁。定価2750円（税込）

在日コリアン翻訳者の群像

斎藤真理子

故国・朝鮮を離れ、日本に居を定めた在日コリアンたち。なぜ彼らは故国の文学の翻訳に、これほどの情熱を注いだか？ 文学作品のすぐれた読み手としても知られる著者による、セミナー形式の講義。聞き手に朝鮮近代史家・水野直樹氏も。定価2640円（税込）

酒はなめるように飲め／酒はいかに飲まれたか

北沢恒彦・山田稔

偶然手にした本に見つけた、学生時代の共通の恩師の名前。山田稔の書き下ろしと、北沢恒彦の遺稿による、コラボレーションの新たな広がり。2冊一組。文庫判並製 48／56頁。

定価16500円（税込）

ざしきぼつこと俺（おんず）

—東北の村・まち・世界

阿伊染徳美

生まれ育った土地が織りなす信仰の世界。東北の民俗、歴史の重なりから、原子力時代のまやかしをにらみ返す。著者を育んだ「かくし念仏」の世界は、いまでも続く。四六判並製・192頁。

定価27500円（税込）

雑誌「朝鮮人」と、その周辺

姜在彦・小野誠之・関谷滋・黒川創

シリーズ鶴見俊輔さんの仕事④ 1960年代末から90年代の初め、京都で刊行された小さな雑誌「朝鮮人」。誌上で重ねた丁寧な座談・議論は、現在の社会をも貫く。四六判変型並製・144頁。

定価16500円（税込）

志願兵の肖像

四方田大彦

映画に見る皇民化運動期の朝鮮と戦後日本
植民地時代の朝鮮人青年たちは、「志願兵」制度の下に置かれた。映画を通じて「皇民化」が内発的行動へと至る道筋。戦後の日本映画は、彼らの面影をどうとどめたかも詳しく講義。四六判並製・176頁。定価26400円（税込）

「思想の科学」私史

鶴見俊輔

1946年に著者が中心となり創刊した雑誌「思想の科学」50年間の通史。多くの書き手を見出し、戦争に抗する多元主義の広場となった、雑誌づくりの現場。24篇の遺稿と、インタビュー。巻末に黒川創による証言を収録。四六判並製・192頁。定価25300円（税込）

自前のメディアをもとめて

田村紀雄

足尾鉍毒問題をめぐる地域史研究、自立した小さなメディアに着目してのコミュニケーション論、海外移民の再定住に至るプロセス……田村さんの膨大な仕事をたどる、自伝的連続講義の記録。四六判並製・224頁。

定価29700円（税込）

社会と自分のあいだの難関

那須耕介

デモクラシーって、疲れませんか？「表現の自由」「移行期正義」「遵法責務」など、日々のくらしに潜む問題をわかりやすく講義。わかったようでわかってなかった「民主主義」を、自分の側からつかみなおす。四六判並製・288頁。

定価30800円（税込）

自由について——七つの問答

丸山眞男

丸山眞男氏を囲んでの七つの問答。聞き手は鶴見俊輔、北沢恒彦、塩沢由典ら。20年間の封印を解いて初公開。この時代だからこそ新しい、亡き代表的思想家による思索と探究。解説：鶴見俊輔、塩沢由典。四六判並製・272頁。

定価26400円（税込）

人生に退屈しない知恵

森毅・鶴見俊輔

「この人に会いたかった」第1巻。記憶と学識の貯蔵庫を開いて、数知れぬ「肖像」を描きつぐ二大名人の対話。いわく「年を取るのも芸のうち」。森毅さん、生前最後の著書。A5判並製・120頁。定価13200円（税込）

創作は進歩するのか

加藤典洋

「鶴見俊輔と囲んで」第5巻。歴史が流れるにつれ、創作は進歩するのか？ギリシア神話よりドストエフスキーは進化したと言えるのか？鶴見との出会いを通して、加藤氏の批評は、大きく転換した。その出発点を振り返る。A5判並製・80頁。定価7700円（税込）

大震災に始まる風景

—東北の10年を振り返って、思うこと 稲宮康人

著者は、2011年3月11日の東日本大震災から10年間、岩手・宮城・福島の大震災に通い、いまでも、その風景を撮影し続ける。百数十点の写真と、さらなる旅をめぐる対話。A5版並製・224頁。定価28600円（税込）

「大東亜共栄圏」の輪郭をめぐる旅

海外神社を撮る

稲宮康人

「いま、どうやって生きていますか？」第5巻。戦時期の日本国家がアジア・南洋の諸地域に建設した神社の跡地を訪ね歩き、大型カメラで撮影。写真が「歴史」をとらえる。A5判並製・120頁。

定価14260円（税込）

多田道太郎

山田稔・黒川創編

——文学と風俗研究のあいだ

京大人文研に若くして採用され、桑原武夫率いる共同研究に参加。元脱走兵、フランス文学者にして現代の風俗に卓抜な解明の眼を向けた。「ものぐさ」学者をめぐる座談の記録。四六判並製・176頁。定価2420円（税込）

脱走の話

——ベトナム戦争といま

吉岡忍・鶴見俊輔

ベトナム戦争からの脱走米兵を援助した経験を考え、語り合った記録。いま、私たちは軍隊から脱走できるか？ これからの日本でも彼らをかくまえるか？ 四六判変型並製・120頁。定価1100円（税込）

たまたま、この世界に生まれて

——半世紀後の『アメリカ哲学』講義 鶴見俊輔

太平洋戦争直前の米国留学で、初めて接したプラグマティズム。著者の根をなす哲学講義と、50歳年少の市民たちとの寺子屋的問答。21世紀に、新たな生命を得る思想。四六判並製・288頁。定価2530円（税込）

中国の医術を通して見えてきたもの

——天文学から『夜鳴く鳥』へ 山田慶兒

（鶴見俊輔と考える）第1巻。中国医学の伝授のありかたに、宇宙観の広がり縦横無尽に跡づけていく。山田慶兒氏。独創に満ちたその学風が、どうやって生まれたか。A5判並製・124頁。定価1320円（税込）

鶴見俊輔全詩集

鶴見俊輔

80歳での初の詩集『もうろくの春』に、その後の詩作品、未収録の詩なども加えて、自作詩、訳詩、およそ50篇におよぶ生涯の詩作を網羅。B6判変型上製糸かがり・136頁。クロス装、箔押し、著者検印、筒状ケース入り。定価3740円（税込）

ディランと出会い、歌いはじめる

中川五郎

ボブ・ディランにノーベル文学賞！ この機会に、デビュー50周年を迎えて、なお活発にライヴツアーを続ける中川五郎さんに、自身のこと、ディランのこと、「フョークリポートわいせつ裁判」のことまで、とことん聞いてみよう！ 四六判並製・160頁。定価2200円（税込）

多様性に立つ憲法へ

那須耕介

（いま、どうやって生きていますか？）第2巻。文明史から見て「憲法」とは何か。より良い社会をめざす仕組みとして「憲法」が機能するには、どういう視野と努力が必要か？ これからの憲法のありかた。A5判並製・120頁。定価1426円（税込）

ダンテは世界をどう描いたか

ダンテ・アリギエリ

——新訳「神曲地獄篇」と、その解説

山田慶兒

ダンテが、時代の先端をゆく科学観・自然観を通して描いた地獄の光景。現代と重なる、乱世の叙事詩の新訳。なぜダンテはこの文芸作品を残したか、その謎に迫る。四六判並製・384頁。定価3520円（税込）

ちいさな理想

鶴見俊輔

時代の峠に立つて、過去と未来を眺める。先の見えない暗がりにむかって進む、この時代の行方。それでも、ぼつん、ぼつんともてる希望の火種はある。著者70歳から80歳代にわたる、ほかでは読めない85年の論考。四六判並製・248頁。定価2640円（税込）

手づくり雑誌の創造術

高橋幸子

企画立案、取材、編集、印刷、製本、宣伝、経理、発送……。雑誌作りの全行程をわが手でこなす。でも、自分が好きなことばっかり！ 雑誌づくりのノウハウをすべて公開。無手勝流、「はななみ通信」18年間の軌跡。A5判変型並製・128頁。定価2420円（税込）

手放せない記憶

鶴見俊輔・小田実

——私が考える場所
過去・現在・未来へと……、終わらない戦争。それでも、自分自身が考える場所を手放さなければ、「国家」に縛りつけられずに生きる軌跡は、なお続いている。四六判変型並製・112頁。定価1320円（税込）

電気じかけの俺たち

中尾ハジメ

——原子力の腹の中で2

核惨事の過小評価が、広島、スリーマイル島、チェルノブイリで行われてきた。エネルギー政策への服従を断きり、自立して生きるためには、いま何が必要か？ 四六判並製・192頁。定価2420円（税込）

悼詞(とうし)

鶴見俊輔

逝く人、125人の知人・友人たちに贈った全追悼文。60年あまりにわたる文筆活動のなかで重ねてきた、多くの人たちとの出会いと別れ。ときに率直な批判も含み、心をこめて、人柄・仕事・そのおもかげを刻む。四六判並製・416頁。
定価3630円(税込)

富岡多恵子の仕事

荒井とみよ・黒川創

詩人、小説家、批評家として、1950年代から21世紀に至るまで、日本の文学界で注目を浴びつづけた富岡多恵子。その著作をとおしてみえる作家像を語りあつた記録。翻訳家・斎藤真理子、フランス文学者・宇佐美育も参加。四六判並製・192頁。
定価2750円(税込)

内陸のくじら

— カリフォルニア・インディアン伝説からの9つの再話

シオドーラ・クロバー著 中尾ハジメ訳

アメリカ先住民の英雄伝を、女性の視点から捉えなおした物語集。そこに生きる若く美しい、あるいは邪悪な女たちの情感をとおして、先住民の物語の世界へ。四六判並製・256頁。
定価2970円(税込)

何も起らない小説

山田稔

〈鶴見俊輔と囲んで〉第4巻。「京都的」で冷たい印象があるとも評される文章に潜む、熱のよくなもの。するすると読者から身をかわわして、山田稔の文学が、じよじよに迫いつめられ、山田さんもいつかは言わないことまで言つてしまします。A5判並製・78頁。定価770円(税込)

2020年の原発問題

中尾ハジメ

東日本大震災から7年、その間に明らかになつた問題と、「核燃料サイクル」の問題、廃炉の問題……。事故後の歳月を通して見えてきた、これからの問題をどうとらえるか。考える手がかりをどうつかむか。四六版並製・168頁。
定価2640円(税込)

日本の小説を読む

山田稔

かつて京都にこんな読書会があつた! 日本の長篇小説だけを讀み、月に一度齒に衣着せぬ論評を交わす。著者が記録した「討論」の厳選16篇と、37年間の「盛衰史」書き下ろし。続刊『多田道太郎』の参考文献にも! 四六判並製・224頁。
定価2420円(税込)

流れに抗して

鶴見俊輔

具体的な行動のともなう思想を、自分のなかに、どう保ち続けるか? 著者が体現してきたプラグマティズムの思想は、現代を生きる私たちにも、役立つものとなりそうです。老いて、おもねらない、著者の態度の表明。四六判上製・112頁。
定価2090円(税込)

なぜ「原子力の時代」に終止符を打てないか

中尾ハジメ・加藤典洋

原子力事故をくり返して、なおそこから目覚められない、バラ色の「原子力の夢」とは? 文芸評論家・加藤典洋氏が、原発問題を追いつける中尾ハジメ氏に聞く。四六判並製・192頁。
定価1833円(税込)

なぜ非暴力直接行動に踏みだしたか

小泉英政・川上賢一・黒川創

シリーズ鶴見俊輔さんの仕事⑤。「自分を一個の粗大ゴミとして路上に置く」座り込み。若い仲間たちとともに踏みだした、根本的な抗議のかたちとは? シリーズ完結篇。四六判変型並製・128頁。
定価1650円(税込)

日本の地下水 ちいさなメディアから

鶴見俊輔

SNSがなかった1960年代、全国で刊行されていた同人雑誌。それは社会変遷の底流にある、もう一つの現代史だった。雑誌「思想の科学」で21年にわたり連載した批評、初集。著者生誕100年記念出版。四六判並製・352頁。
定価2860円(税込)

敗北方 Later Works 増補版

鶴見俊輔

著者が計画していた最後の自著。好評だった旧版に最晩年の思索の到達点というべき5本の論考を増補。敗北方を構成する「認識」と「気構え」とは? 人生を通して考え、最後に向かうとしたものは? 解説・加藤典洋。四六判上製・320頁。
定価6300円(税込)

バーリンという名の思想家がいた

——「ひとりの人」を通して「世の中」へ

那須耕介〈この人に会いたかった〉第4巻。ラトヴィアのリガで生まれ、ロシア革命のなかをイギリスに逃れて、『自由論』を著したアイザイア・バーリンの生涯。そこから世界を考える。A5判並製・120頁。
定価1320円(税込)

ハンセン病に向きあつて

木村聖哉・湯浅進・黒川創

シリーズ鶴見俊輔さんの仕事① 多くを語らないまま、生涯にわたり関わりつづけた、思索と行動。戦後までもない20代に始まる、ハンセン病の患者・元患者たちとの交流。四六判変型並製・112頁。定価1650円(税込)

ピアノは、ここにいらな

高橋悠治

祖父と父とぼくの時代

「この人に会いたかった」第3巻。名ピアノスト、悠治さんに聞いておこう！音楽批評家の父、高橋均氏のこと。朝鮮語で『耶穌伝』の著書もある、祖父、高橋鷹蔵氏のこと……。A5判並製・116頁。定価1320円(税込)

福島的美術館で何が起こっていたのか

震災・原発事故・ベン・シャーンのこと 黒川創編

住民の暮らしが災害の中にあるとき、美術館が果たす役割とは？大地震にゆれた美術館、個人として経験した震災と放射能禍。福島県立美術館学芸員有志との討議の記録。四六判並製・200頁。定価2530円(税込)

フサエさんのおいしい田舎料理

岐阜・旧徳山村で作ってきたもの 大牧フサエ

家族のために毎日つくってきた、徳山村ご当地料理などのレシピ集。仕事にも余暇の使い方に熱心だった若いころ。ダムに沈んだ村で、かつて営んだ暮らしなどの証言も。A5判変型並製・160頁。定価2547円(税込)

ブックデザインの構想

平野甲賀・黒川創

「チエコのイラストレーションから、チラシ・描き文字まで

チャベック兄弟の世界にうまれ、大正時代の日本の「漫画」にも影響をもたらしたチエコのイラスト。そこからのブックデザインの方法とは？書物の楽しさをデザインする。四六判並製・128頁。定価1540円(税込)

兵士の人権を守る活動

高橋幸子・三室勇・那須耕介・黒川創

シリーズ鶴見俊輔さんの仕事② 自衛隊員の海外派遣が始まる1992年、京都で開始された自衛官ホットラインの活動。鶴見さんの動機には、自身の従軍経験があった。四六判変型並製・128頁。定価1650円(税込)

編集とはどういう行為か？

松田哲夫・室謙二・黒川創

シリーズ鶴見俊輔さんの仕事③ 鶴見さんの仕事の本流、編集の仕事に焦点をあてる。雑誌「思想の科学」や、数々の選集づくり。小沢信男、津野海太郎も加わり討議。四六判変型並製・128頁。定価1650円(税込)

ぼくの家には、むささびが棲んでいた

徳山村の記録

大牧富士夫

1987年、「徳山ダム」建設のため、その歴史を閉じた、岐阜県揖斐川上流の徳山村。村での暮らしを、記録と追憶から掘り起こして綴る。解説・鶴見太郎。四六判変型並製・152頁。定価1650円(税込)

ぼくの戦争

山田慶兒

満洲国と同じ年だった少年の回想

戦争に導こうとするとき、国家は嘘をつく。若い世代が、それを見破るには、何が必要か。戦争に向かう社会で、国家の嘘を少年・少女が見破るためのコツとヒント。四六判並製・160頁。定価2640円(税込)

本はどのように変わっていくのか

津野海太郎

21世紀に入って根底から変わった、本を巡る環境。文明的な本のありかたから、個人と本のつき合いまで。取次、書店員など「本」で暮らしをたてる人びととともに語り合う。四六判並製・160頁。定価2640円(税込)

民族衣装を着なかったアイヌ

瀧口タ美

北の女たちから伝えられたこと

「純粋なアイヌはもういないんだよな。」著者はたびたびこの質問を受け、悩んできた。家族や親戚に話を聞き、「私たちの歴史」を考え直す。好評のロングセラー！四六判並製・224頁。定価2750円(税込)

もうろく帖

鶴見俊輔

鶴見さんの備忘録「もうろく帖」の第1冊目を、美装の手帳型の一冊に。自身の新たな発想。他者と自己の着想が、交差して生まれる独創の泉。老いから何を発見できるか？ 文庫判半上製・192頁。口絵頁（著者自筆）カラー刷り。

定価2200円（税込）

「もうろく帖」後篇

鶴見俊輔

全部で23冊に及んだ鶴見さんの備忘録「もうろく帖」。2冊目以降のすべてのノートから、その大半を掲載。老いについて、死について。晩年の鶴見さんが記しつづけた、日々の思索、その冒険の記録。文庫判半上製糸かがり・288頁。箔押し。

定価2970円（税込）

もじを描く

平野甲賀

本屋さんでよく見かける、ユニークな「描き文字」の装幀家によるエッセイ集。40年以上のキャリアから、自由闊達な平野甲賀の世界が、豊富な話題とともに展開されていきます。著者自装。四六判並製・62頁。

定価1320円（税込）

歴史の中を人間はどう生きてきたか

—— 私たちの場所から中国中世を見る 谷川道雄

〈鶴見俊輔と考える〉第4巻。現代と中国中世のつながりから見える私たちの未来は？ 〈歴史の主体としての民衆の姿〉から、歴史の先端に立つ私たちのありかたを省察する。A5判並製・116頁。

定価1320円（税込）

「論語」を、いま読む

井波律子

〈鶴見俊輔と考える〉第1巻。大キライだった漢文の授業。でも「論語」は詩なんです」と語る井波律子氏を導き手に、「説教くさくない『論語』を、自分たちで読んでみよう。読んで楽しい、井波さんの仕事の原点も垣間見えます。A5判並製・76頁。

定価770円（税込）

私が書いてきたこと

富岡多恵子

「いま、どうやって生きていますか？」第1巻。大阪の豊かな町人文化に親しみながら成長した少女時代。「女の子」に世間から求められることと、自力で生きることのあいだで、戦後もずっと続いてきた格闘。著者の最後の著書。A5判並製・120頁。

定価1426円（税込）

山田慶児詩集 鯨釣り

山田慶児

90歳、碩学の科学史家が、残照のなかに遊ぶ、詩作のとき。亡き愛妻への追憶、独り居の思索、そこから湧き上がるユーモア。山田さんのひさしぶりの詩集は、自在な天地を生みだします。テーパーの上的大海。四六判変型、簡易上製・80頁。

定価2750円（税込）

欲動を考える

作田啓一

〈鶴見俊輔と考える〉第2巻。「倒錯」によって増幅し、混乱していく「想像力」。現代を「倒錯」と「欲動」をキーワードに掘り下げる、作田啓一氏の人間行動分析、入門篇。その業績の再発見への手がかりとしても。A5判並製・80頁。

定価770円（税込）

夜の話

秋原勝二

—— 百歳の作家、満洲日本語文学を書きついで八十余年にわたる創作、主要9作品。7歳で渡った満洲と日本本土の間でゆれる、望郷の念、土地への愛着、戦後の日本。巻末に著者インタビュー。解説・黒川創。四六判上製・320頁。

定価2860円（税込）

わたしが市会議員になったら 井崎敦子

そもそも「市会議員」って、どんな役割があるの？ 地域の暮らしやすさは大事だけど、議会でそれを変えられる？ 私たち自身のための地方参政権、入門の書。政治のシロウトにこそ、実現できることとは？ 四六判変型並製・128頁。

定価2200円（税込）

わたしはどんな学問をしてきたか

山田慶児

少年時代に過ごした神話的な時間。科学史家・戴内清の下での厳しい修業時代。天文学、西洋史、中国科学史など、諸分野を縦断した、独創的な学風は、どこから生まれたか？ 四六判並製・128頁。

定価2310円（税込）

わたしの中の38億年

中村桂子

—— 生命誌の視野から

〈鶴見俊輔と考える〉第3巻。ゲノムから考えれば、この「わたし」は、地球上に生命がうまれた38億年前から生きているとも言える。そこからの「生命」の意味を考える。A5判並製・120頁。

定価1320円（税込）

SURE T-Shirts 2025

3サイズ／各 3500 円（税込）

編集グループ SURE

2025 年

テーマは「...future（未来）」です。

世の中がずいぶん物騒になっています。

戦争が起こり、国内も外国も、ひどく荒れています。

だからといって、この状況をさして「no future」

などと言うのは、未来を担う子どもたちには残酷です。

子どもたちは今の世の中をじっと見えています。

アイデアを出しあって、よりよい明日をつくりましょう。

黒猫と少女！Tシャツ 3500円（税込）

●Tシャツの色はサンドカーキ、イラストの刷り色は黒です。素材は綿 100%。●サイズは男女共通でS、M、Lサイズ。●"We will make a better tomorrow with different ideas."（私たちは別のアイデアでよりよい未来をつくる）というメッセージに、これから生きる子どもたちに教わりながら生きたい、という気持ちをこめました。イラストは『大石誠之助の生涯』の装画を描いた、飯田李。

今年のSURETシャツは
黒猫と少女！！



We will make a better tomorrow
with different ideas.

SURE



ルソー！ Tシャツ 3500円（税込）

●Tシャツの色はライトベージュ。イラストの刷り色はレンガ色です。素材は綿 100%。●サイズは男女共通でS、M、L サイズ。●"L'homme est né libre, et partout il est dans les fers."（人間は自由なものとして生まれた、しかもいたるところで鎖につながれている）は、ルソー『社会契約論』冒頭の一節です。



フクロウ hoot! Tシャツ 3500円（税込）

●Tシャツの色はオリーブグリーン。イラストの刷り色は沈んだ青です。素材は綿 100%。●サイズは男女共通でS、M、L サイズ。●"I don't come to heel. I hoot."（私は服従しない。私は「ホー」という）は、なににもしばられないフクロウのセリフです。イラストは『おばけ灯台』の、きむらみほ。



鯨釣り！ Tシャツ 3500円（税込）

● Tシャツの色はサン
ドカーキ。イラストの
刷り色はクリームです。
素材は綿 100 %。●
サイズは、男女共通の
S、M、L サイズ。●
"humpe peraykar" (フ
ンペ ペライカラ) はアイ
ヌ語で「鯨釣り」です。



ブックマンTシャツ 3500円（税込）

● Tシャツの色はチャ
コール（茶系グレー）。
イラストの刷り色はク
リームです。素材は綿
100 %。●サイズは、
男女共通で S、M、L
サイズ。● "Walking
bookman"（歩く本男）
と書かれています。

サイズについて

お手元のTシャツをはかって、サイズ表とくらべてみて
下さい。

サイズ表(cm)	身丈	身巾	袖丈
S	65	48	20
M	70	52	20
L	74	55	22



読んでる？ Tシャツ 3500円（税込）

● Tシャツの色はネイ
ビー（紺色）。イラスト
の刷り色は黄色っぽい
白。素材は綿 100 %。
●サイズは、男女共通
で S、M、L サイズ。
●離れていても一緒だ
ね。つながっている本
の世界。……糸電話で
す！

●特別企画 瀧口政満写真集『樹の人』

A 4 版変型・オールカラー・208 頁。3300 円（税込）



北海道・阿寒湖畔のアイヌ・コタンを拠点に活動した彫刻家・瀧口政満(1941-2017)の作品の集大成となる一冊です。シマフクロウをはじめとする動物、少女像など、アイヌの心と響き合う独自の世界を切り開いた作品群から、約 130 点を紹介。撮影・酒井広司。エッセイ・瀧口夕美。評伝・黒川創。解説・五十嵐聡美（北海道立近代美術館学芸員）。北海道新聞社刊。

●特別企画 北沢街子『メルボルンの黒い髪』

四六判・上製・288 頁。2136 円（税込）



京都で頭痛と肩こりに苦しんでいた一人の女の子が、メルボルンの街を「ふふふ、殺せ」と呟きながら歩いていく。彼女はもうかつての家出娘ではない。彼女は、人生から差しだされた分を、きちんと残さないで食べている。この本には、女の子の人生を生きる知恵がぎっしりつまっていると思う。加藤典洋（文芸評論家）。新宿書房刊。



●特別企画

藤田護・瀧口夕美・中川裕

『長濱清蔵のアイヌ語 ——十勝地方の物語』

A 5 版・192 頁。2750 円（税込）

1970 年に家族のために録音された、道東・十勝地方のアイヌの音声資料をひもとく——。家族の手元で大切に保管されてきた貴重な資料から、アイヌ語十勝方言と、口承文芸として伝えられた物語、伝承を再現する。散文説話「キムンカムイの話」、英雄叙事詩「オタストゥンクル兄弟とスット村の兄弟との戦い」、言い伝えである「足が速く一日で十勝国境を往復した者の話」のアイヌ語テキストと和訳を掲載。文法解説、語彙集を付し、十勝のアイヌ語の資料としてアイヌ語の学習者や研究者の利用にも供する。図書出版みざわ刊。

● 瀧口政満ポストカード
8枚1セット 1000円(税込)

SURE 刊、『樹のなかの音
瀧口政満彫刻作品集』に収め
られた作品写真から、カラー
絵はがきセットをつくりました。
8枚1セット／オールカラー



● yuriko ポストカード 8枚1セット
1000円(税込)

瀧口ユリ子のイラストから、
カラー絵はがきセットをつくりました。
テーマは、「アイヌのひとびとの暮らし」です。
8枚1セット／オールカラー

● yuriko 一筆箋 20枚綴り 500円(税込)

瀧口ユリ子のイラストから、一筆箋をつくりました。20枚綴りで、
イラスト「エカシ(おじいちゃん)とフチ(おばあちゃん)にコロコニ(ふ
き)とプクサ(行者ニンニク)をもって帰る」が、すかしのように薄く印
刷されています。187ミリ×80ミリ／20枚綴り／オールカラー。



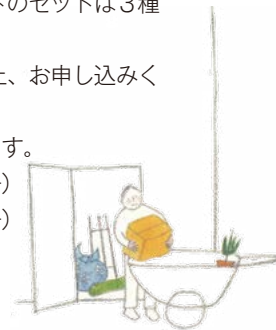
● 「あたらしい人生」ポストカード(オールカラー)
5枚1セット 各600円(税込)

北沢街子による、SURE刊の絵本『あたらしい人生』の絵
などで、絵はがきをつくりました。イラストのセットは3種
類、各5枚。

以下の各セットから、セット名をご指定の上、お申し込みく
ださい。

※ホームページに全点の見本を掲載しています。

- ・あたらしい人生《Aセット》(絵・北沢街子)
- ・あたらしい人生《Bセット》(絵・北沢街子)
- ・「楽しい毎日」セット(絵・北沢街子)



● SURE の本・雑貨 購入方法

SURE 発売の本は、直接販売のみです。

① SUREオンラインショップ

SURE ホームページから、クレジットカード、コンビニ決済、ペイディ、PayPal、キャリア決済、楽天ペイ、PayPay 残高、Amazon Pay がご利用になれます (<https://henshuugroup-sure.stores.jp/>)。



② 郵便払込

郵便払込にて本・雑貨の代金をお払い込みください。ご入金があり次第、郵送にてお届けします。郵便局備付の郵便払込用紙に、住所、氏名、電話番号、本のタイトル、冊数をご記入の上、[00910-1-93863 編集グループSURE] 宛に、代金の合計+送料 300 円をお払い込みください。ご入金を確認できるまで数日を要しますので、おいそぎの際はSUREまでお電話ください。

● 送料について

送料は、一回のご注文につき、書籍、雑貨、何点でも 300 円です (日本国内、同一の宛先に)。



編集グループSURE

〒602-0822

京都市上京区河原町通今出川上る青龍町 221 番地 3

tel./fax. 075-202-9522

HP <https://www.groupsure.net>

e-mail info@groupsure.net

